



ほ っ と ニ ュ ー ス

2020年3月10日

No.75

上山高原エコミュージアムの“ほっ”なニュースをお届けします。

◆令和2年度もよろしくお願ひしま〜す！

2月に入り「新型コロナウイルス」が猛威を振るって、学校の長期休業など、大混乱の様相です。さて、このニュース発行の頃はどうか沈静化に向かっていることを願うばかりです。さて、令和2年度もいよいよ始まります。4月の山開き・山焼き、新緑の上山高原、原生林のブナ林、秘境の滝めぐりなど山好きのみなさんにゆっくりとした時を楽しんで頂けるように年間プログラムを計画しています。（裏面に記載）

前年度は、雨、台風、また雪不足などで、中止になった行事が相次ぎましたが、今年度は予定通りに開催したいです。お知り合いの方と連れだって是非お来し下さい。まず4月は1年間の安全を願ひ、また草原つくりのために「山開き・山焼き」を行います。上山高原の自然と山焼き体験はいかがですか！軽食も準備します。皆さんの参加を待っています。

<かんじきハイキング（海上）>

暖冬で「かんじきハイキング」開催のが危ぶまれていましたが、数日前からの積雪と当日の新雪で予定どおり、かんじき体験、雪上散策で、獣の足跡、寒い中で生きる虫（クロカワゲラ）など解説を受けながら楽しんでいただきました。「いっぶく亭」で昼食休憩。「茂平谷滝」まで散策や雪遊びなど35名が新雪の雪景色を楽しみました。多くは阪神方面など町外者の方で、とっても元気に楽しんでいました。我々スタッフは少々疲れしました。海上げんき村での「あったかサービス」に「おいしい〜！」と舌鼓。（アンケートより〜）雪景色、足跡、虫の話など楽しかった。また来たい！ソリが楽しかった。自然が素晴らしい！などみなさん大変大喜びでした。

<モニタリング報告会>

3月8日（日）令和元年度「高原の自然再生・動植物の復元状況等について」の報告会がありました。



高原植物の種類や復元の状況、ノウサギ調査、高原性のクモの生息、イヌワシの棲息等、大学教授やイヌワシ研究会員、調査部会など専門家による研究報告会を開催しました。再生事業により復元した植物もあるが、草原性植物指数は増えていない。生物多様性ある高原を作るには作業の継続が必須。今後イヌワシの繁殖に期待するなど、たいへん貴重な報告会でありました。問題はシカなどの食害が年々深刻になり、希少な植物や農産物被害など拡大しないような対策を望みたいものです。



昨年の山開き風景と野外での昼食準備



新雪・全員でバタ〜ン！

特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム

事務局 上山高原ふるさと館内〒669-6953兵庫県美方郡新温泉町石橋757-1

TEL(0796)99-4600 FAX(0796)99-4601 E-mail:ueyama-eco@yumenet.tv

http://www.uavamakonan-eco.net

